

令和6年度 シラバス兼授業計画書

学科名	未来創造IT学科	科目名	校外インターンシップⅡ		
授業種類	実技	履修区分	必修	履修時期	
単位数	2単位	担当教員	野木政延□		
授業 内容	《授業概要》				
	<p>本授業では、株式会社マーキュリーをインターン先とし、実習を行います。インターン先で発生するIT支援の業務に対して、現状のヒアリング・課題整理をした後、計画を経て開発するといった、IT支援業務の一連の工程に参加します。本授業を通して、ITエンジニアの業務のイメージを確立すると同時に要件定義に基づいたシステム開発を実行する基礎力を培います。</p>				
	《学習の到達目標》				
	<ol style="list-style-type: none"> 1 システム開発の作業工程を理解したうえで、工程を組むための練習を行う 2 要件定義を理解し、要件を満たすシステム設計ができるよう目指す。 				
前期			後期		
4月	システム開発に留意点:要件定義について①		9月	企業実習①	
	システム開発に留意点:要件定義について②			企業実習②	
	システム開発に留意点:設計①について			企業実習③	
5月	システム開発に留意点:設計について②		10月	企業実習④	
	システム開発に留意点:設計について③			企業実習⑤	
	システム開発に留意点:設計について④			企業実習⑥	
6月	システム開発に留意点:設計について⑤		11月	企業実習⑦	
	中間テスト			企業実習⑧	
	システム開発に留意点:実装について①			企業実習⑨	
7月	システム開発に留意点:実装について②		12月	企業実習⑩	
	システム開発に留意点:実装について③			企業実習⑪	
	システム開発に留意点:実装について④			企業実習⑫	
8月	システム開発に留意点:テスト		1月	企業実習⑬	
	システム開発に留意点:レビュー			企業実習⑭	
	実習レポート①			実習レポート②	
前期試験			後期試験		
教科書 参考書	実習内容に応じてパワーポイントの資料を使用する				
成績評価	<p>授業内の専門用語と各装置やシステム開発のプロセスについて8割程度理解できることを到達目標とする。 【評価方法】 1.授業態度 10% 2.実習先評価 40% 3.実習レポート 50%</p>				
履修上の留意点	指示内容を細かくメモに取り、作業時は企業担当者に確認をしながら慎重に実習に取り組むこと。				